

注 意 報

平成26年6月13日

各関係機関の長様

広島県農林水産局長
(農業技術課)

平成26年度病害虫発生予察情報注意報第1号について(通知)

このことについて、次のとおり発表します。

平成26年度病害虫発生予察情報注意報第1号

平成26年6月13日
広島県農林水産局

【作物名】 果樹全般(ナシ, ブドウ, モモ, カキ, リンゴ, カンキツ等)

【病害虫名】 果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ, ツヤアオカメムシ, クサギカメムシ)

1 適用地域 県内全域

2 今後予想される発生量 多

3 防除時期 収穫期まで

4 根 拠

(1) 県内5地点に設置している集合フェロモントラップのうち3地点において、5月第6半旬から6月第1半旬にかけて果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ, ツヤアオカメムシ, クサギカメムシ)の誘殺数が急増し、過去の多発年(注意報発表年度)並に多い発生となっている。(図1)

(2) 県中北部に設置している地点においても果樹カメムシ類の誘殺数が増加している。

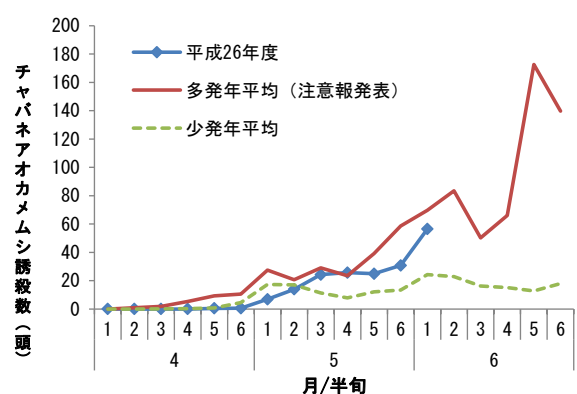
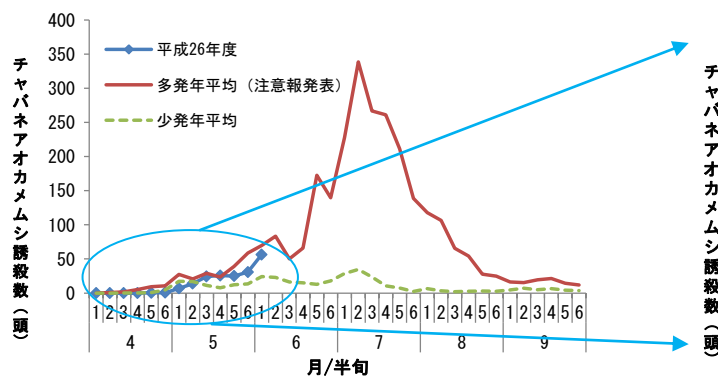
5 防除上の注意事項

(1) 果樹カメムシ類は移動性が高く、飛来は園地間差が大きいいため、夕方または早朝にはほ場周辺も含めて巡回し、ほ場への飛来が認められたら早急に防除する。

なお、果樹カメムシ類は夜行性であるため、薬剤防除の時間帯としては、夕方が最も効果的である。

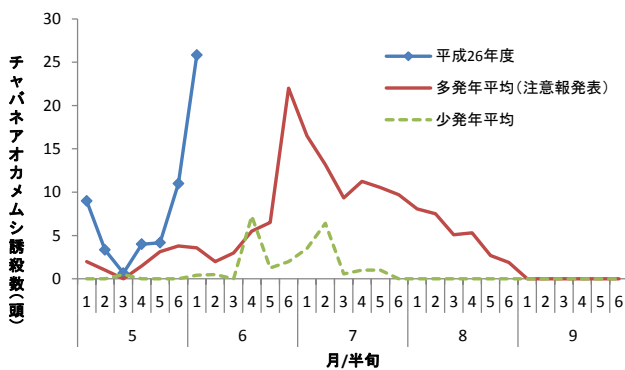
(2) 果樹カメムシ類の加害は長期間に及ぶため、継続してほ場の観察に努め、防除実施後も園地への飛来が認められる場合には、追加の防除を実施する。

- (3) 有袋栽培においても、果実が肥大して果実袋に密着すると、袋の上から吸汁されることがあるので注意する。
- (4) 合成ピレスロイド系の農薬は天敵への影響が大きいので、連用するとハダニ類、カイガラムシ類の発生が多くなるので注意する。
- (5) 黄色蛍光灯はチャバネアオカメムシに対して忌避効果があるため、設置園では早期に点灯する。
- (6) 薬剤散布については、農薬使用基準（使用量、希釈倍数、使用時期、使用回数等）を遵守するとともに、周辺作物への飛散防止対策を徹底する。
- (7) なお、最新の農薬情報は、農林水産省ホームページ「農薬コーナー」の「農薬登録情報検索システム (<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vtllm001.html>)」を参照する。



(1) 東広島市安芸津町（農業技術センター果樹研究部）

(2) 東広島市安芸津町（拡大）
（農業技術センター果樹研究部）



※グラフ上の年度について

東広島市安芸津町

多発年平均（注意報発表）：平成 16,22,24 年

少発年平均：平成 17～21,23,25 年

福山市

多発年平均（注意報発表）：平成 22,24 年

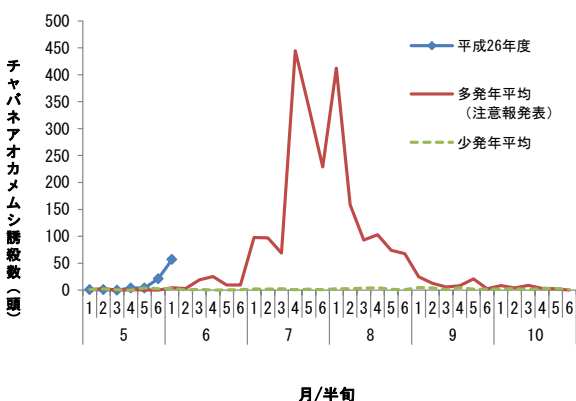
少発年平均：平成 23,25 年

庄原市高野町

多発年平均（注意報発表）：平成 22,24 年

少発年平均：平成 20,21,23,25 年

(3) 福山市（モモ園）



(4) 庄原市高野町（リンゴ園）

図1 県内各地における果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツアオカメムシ、クサギカメムシ）のフェロモントラップ誘殺状況

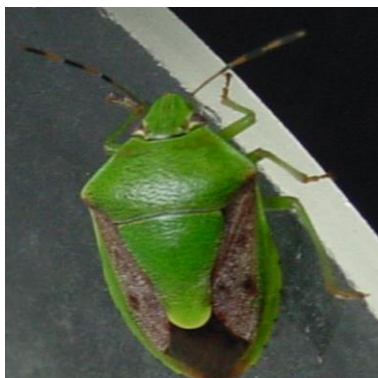


図2 チャバネアオカメムシ



図3 ツヤアオカメムシ (幼虫)



図4 クサギカメムシ



図5 果樹カメムシ類による被害果実 (ナシ)

○市町は、この情報を生産団体等関係者へ伝達のこと。
○詳細は、農業技術課 (082-513-3559), 西部農業技術指導所 (082-420-9662), 県立総合技術研究所農業技術センター果樹研究部 (0846-45-1225) へ問い合わせること。
○この情報は、広島県ホームページ内の植物防疫チーム (病害虫防除所) (<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/198/syokubou-t.html>) に掲載している。